

## 令和4年度 自己点検・評価結果報告書【入学者受入】

推進責任者：副学長（入試・高大連携担当） 市川 聡夫

## 1. 自己点検・評価の実施概要及び判定結果

自己点検の観点	自己点検・評価項目	実施方法	エビデンス	判定結果
入学者受入方針の整備状況及び実施状況	<認証評価分析項目5-1-1> 学生受入方針において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること	学生受入方針において、以下の項目の記載があることを確認した。 ①求める学生像 ②入学者選抜の基本方針 ③受け入れる学生に求める学習成果・求める成果（学士課程においては「学力の3要素」）	①3ポリシー ②入学者選抜要項	適切である
入試の検証及びその活用	<認証評価分析項目5-2-1> 学生受入方針に沿って、受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施していること	受入方法及び実施体制が公正に実施されていることを示す以下の項目に係る資料が作成されていることを確認した。 ①面接や実技試験等における評価の公正性を担保する資料 ②入試委員会等の実施組織や入学者選抜の実施体制が確認できる資料 ③入学者選抜方法等の変更に伴う予告・公表資料	①面接要領【非公表】 ②入学試験委員会規則 ③入試実施要項 ④変更予告・公表文	適切である
	<認証評価分析項目5-2-2> 学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てていること	入試に関する委員会等、検証するための組織や具体的な取組状況を示す以下の資料が作成されていることを確認した。 ①学生の受入状況を検証する組織又は方法 ②上記①の結果を踏まえ、入学者選抜の改善を反映させたことを示す具体例	①入学試験委員会規則等 ②教授会等議事要録及び検討資料	適切である
実入学者数の適正状況	<認証評価分析項目5-3-1> 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと	・学生募集を行う組織単位ごとの過去5年間の入学定員に対する実入学者の割合の平均を確認する。 ・学部又は研究科の単位において、実入学者数が「入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る」状況になっている場合は、その適正化を図る取組がなされていることを確認する。 ※実入学者数には、秋期入学者のほか、国費留学生や外国政府派遣留学生等の入学者を含める。 ※学生募集を行う組織単位ごとの過去5年間の入学定員に対する実入学者の割合の平均に関しては、適切な教育環境を確保する観点を重視し、「1.3倍以上」、又は「0.7倍未満」の場合は、「大幅に超える」、又は「大幅に下回る」とする。	①認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式2	適切である

## 2.結果総括

### 【優れた点】

#### <認証評価分析項目5-1-1>

- ・学生受入方針（AP）において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示している。

#### <認証評価分析項目5-2-1>

- ・口述試験の採点表で、各アドミッションポリシーに対して評価する点を示している部局がある。

### 【改善を要する点】

#### <認証評価分析項目5-2-1>

- ・面接要領が整備されていない（改善対応中の）選抜区分がある。

#### <認証評価分析項目5-2-2>

- ・今年度より各学部へ改善検討の説明を開始したところであり、改善を反映させたことを示す資料（会議の議事録等）が無い部局がある。